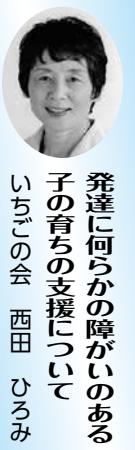




通学路の安全対策について

創志会 鶴指 真澄



発達に何らかの障がいのある子の育ちの支援について

いじかの会 西田 ひろみ



中学校完全給食および喫食時間について

無会派 相原 志穂



市立図書館の管理・運営について

太平会 山口 良樹

問 平成25年に文科省、国交省、警察庁は通学路の交通安全確保に向けた基本の方針を策定しました。この名称を通学路交通安全プログラムとしていますが、本市のプログラムの概要を伺います。

答 (教育部次長)：継続的に通学路の安全を確保していくために、PDC.Aサイクルにより安全対策を実施するものです。

具体的には、市の所管部署、県、学校、PTA、警察において、特に安全対策が必要な箇所の合同点検を今年度より大幅に増やし、関係者間で連携を図りながら、改善策の検討、対策を実施しています。さらに、実施後も学校からの情報収集および実施箇所の確認を行い、必要に応じて改善するなど、継続的に安全確保を図っています。

問 学校から提出された通学路の改善要望のうち、単年度では解決できない要望の取り扱いについて伺います。

答 (教育部次長)：実現は難しいけれど、別の方で改善できるものについては、改善の取り組みをした上で回答しています。

答 (教育長)：毎年回答は出しておりますが、その回答に対する条件が変わり、実効性が高まつたときには、改めて要望してもらいたいと考えております。

その他質問

- ・海老名インターの東側に隣接する道路等について
- ・学校給食について
- ・他の質問

問 発達障がいは早期発見と個々の特性に応じた支援で社会的自立が可能ですが、一番のネックは保護者が障がいを受容できない点だと聞いています。そこで発見・相談の重層的な仕組みが必要だと考えます。3歳半までの乳幼児健診に加え、5歳児の発達障がいに特化した集団健診もしていただきたいと思いますが、見解を伺います。

答 (保健福祉部長)：ほとんどの5歳児は保育園か幼稚園に通っていて、保育士などが接する中で一定の発見はできると思いますし、わかば学園の療育相談も行われていますので、現時点で5歳児健診の必要性を感じていません。

問 共に教育を受けるために、通常級に在籍している障がいのある子どもが機能支援を受ける通級教室「ことばの教室」と「そだちの教室」は市内に計4校設置されています。自校がない場合、保護者が設置校に連れて行く必要がありますが、希望する子どもが全員通える対策について、見解をお聞きします。

答 (教育部次長)：実現は難しいけれど、別の方法で改善できるものについては、改善の取り組みをした上で回答しています。

答 (教育長)：来年度、中学校の通級指導の教員が県から1名配置される予定ですが、この教員が各校を訪問する形が可能か県教育委員会とやりとりしたいと思っています。小学校についても訪問指導が可能かどうか、県とのやりとりではあります、検討していきたいと思っています。

問 本市は中学校の給食弁当注文方式による配食弁当を実施しておりますが、完全給食に対する本市の考え方を伺います。また、本市では喫食時間にどの位の時間が確保されているか伺います。

答 (教育部長)：まずはお弁当を望んでいる方がいつでも利用できる環境を整える必要があると考えますので、今後ともこの方針を継続してまいります。完全給食に関しては、将来的に学校施設再整備計画の中で検討していく考えです。

喫食時間については15分から20分が確保されており、時間内にほとんど食べ終わっていますので、その後の昼休みと合わせ、ゆとりが持てるよう働きかけてまいります。

問 お弁当は家庭の状況も見えてしまうので、子どもの尊厳を守る観点からも給食は重要な役割を担うと思います。災害時の炊き出しといった面からも、超長期的には自校式も必要だと思いますが、考え方を伺います。

答 (教育長)：子どもたちが社会でどのように力を求められるかは、その時代で大きく変わってくると思います。よりよい安全な給食を提供することは、子どもたちの成長にとって必要と考えますので、複合化や多機能化も含め、検討してまいります。

問 市が指定管理者と交わした基本協定書には、市立図書館のホームページは指定期間に中の管理運営業務を遂行するためにのみ使用するとあります。

しかし多賀城市と高梁市の市立図書館のホームページの「デザインや文言などは、CCCが本市の指定管理料で開発したもののが全くそのまま流用されています。協定に抵触する行為であると指摘していただきたいと思いますが、どうですか。

答 (教育部次長)：「」指摘の内容について確認したいと思います。

問 本市の指定管理者制度がどういう方向に行くのか、TRCが脱退したらどうなるのか注目されていると思います。

答 (市長)：市長は14年間走りながらさまざまな政策を実現し、本市は自覚ましく発展しました。ここで一回立ち止まり10年、20年、50年先を見据え、図書館としていいものを残してほしいと思いますが、いかがですか。

答 (市長)：身近に感じられる開かれた図書館にして、多くの若い人たちが集まつて図書に親しんでほしいと思っています。これから図書館は色々なスタイルがあっていいと思います。著作権の件は調査をして問題があれば当然は正していただきます。

その他質問

- ・誰もが学びやすい学校づくりについて
- ・徳育教育の教科化について
- ・認知症対策について
- ・市立図書館の平成31年度以降の指定管